

第2章 新座市の緑の将来像

1 緑の将来像

緑の基本計画において緑の将来像は、将来のまちをイメージしたものです。

緑のもつ様々な役割や機能を、生活の中で感じ、体験できるようなまちをめざして、テーマを次のように設定しています。

緑を味わうまち新座

誰もが・・・市民・来訪者、老若男女が
いつでも・・・季節・時を選ばず
どこでも・・・どのような目的や状況においても
どのようにも・・・歩いても車でも、眺めても触れても
楽しめる緑のあるまちを目指します。

次ページの緑の将来像図に、以下の要素で将来像を具体化します。

大規模緑地核

広がりと密度をもち、多様なニーズにこたえる市の緑の中核をなす緑地

市街地緑地核

駅周辺のにぎやかさにあって建築物や道路と一体となった緑ある空間

時の軸

歴史遺産である野火止用水や周辺樹木により平林寺等の史跡と近代的都市空間を、時を越え緑で結ぶ軸

水と緑の軸

黒目川、柳瀬川、野火止用水の水と周辺の緑が織り成す軸

緑の骨格形成軸

街路樹・緑道などにより水と緑の軸及び時の軸を結び緑の骨格を支える軸

多自然緑地核

変化に富んだ地形とまとまりある緑地の連続により新座の特色を表現する緑の塊

市街地緑化ゾーン

多彩な緑の保全・創出による都市景観整備や施設整備を通し、都市生活を楽しむゾーン

多自然保全ゾーン

農地・山林など自然の保全や居住環境との調和により緑に映える野火止台地や武蔵野の面影を楽しむゾーン

2 緑の将来像図

